

【双子のグリース・スミプレックス】—住鋳潤滑剤—

リチウム複合グリースに有機モリブデンを配合。

1. **中・高速**の高温・高荷重用軸受けに**スミプレックスEPY**
2. **低速**の高温・高荷重・耐水性に高粘着**スミプレックスYM-K**
3. 用途：あらゆる産業機械や建設機械の軸受けや摺動部に
4. 使用温度範囲：-20～200℃
5. 荷姿：400g ジャバラ、16kg 缶



「高崎物語」 13

学食で四十円の定食を食べていると、背中をポンと叩く者がいた。振り向くと貴公子然としたにこやかな常山先輩の顔があった。「佐藤、一寸きつそうだが庭石屋のアルバイトが出た。一緒にやってみないか」

「いいですよ。常さんがやる仕事でしたらどんな仕事でもお供しますよ」

常山先輩は、背丈もわたしと同じ位だったし、格別頑丈な肉体の持ち主でもなかった。

それがどうして、重労働が要求される庭石屋の仕事など引き受けてきたのか理解に苦しんだ。ただ、金のためでないことだけは分かっていた。

◇
午後の授業を終えた後、私たちは大型トラックの助手席に乗って、高崎から小一時間ほどのところにある鬼石町に向かっていた。鬼石町には庭石として有名な「三波石」が産出されていた。

『庭石屋のアルバイト』

この石は、青緑色に白い紋様が入った独特の石で、枯山水の庭園や飛び石等に多く用いられていた。トラックを川に入れ、私たちは川床から手で持てる範囲の「三波石」を拾い、荷台に載せた。

重量挙げ選手のような肉体もなかった私たちにとって、重い石を胸元まで引き上げて荷台に転がすのは重労働だった。その上明日は夜明け前に出発すると言う。

庭石を積んだトラックは、三人を乗せて中仙道を下り東京に向かった。東京で積荷の石を降ろし、今度は富士山の裾野にある富士吉田に向かった。この町では、庭石用の火山岩を積み込む更につき作業が待っていた。

火山岩は溶岩のため表面が刺々しく、痛くてとても軍手一枚では掴むことさえ出来なかった。掌部分にゴムの付いた軍手を重ねて、やっと積み終えることができた。既に、日は落ちていた。空腹も忘れ、助手席の硬いシートに体をうずめ、二人で泥のように眠った。青春の思い出だった。

☆ あとがき ☆



今年の決算も増収、増益とはいかなかったもののほぼ目標通り達成することが出来ました。これも皆様の温かいご支援の賜物と同感謝申し上げます。どうぞよろしくお引立てのほどお願い申し上げます。

「日本でいちばん大切にしたい会社」—こんな本に出会いました。